

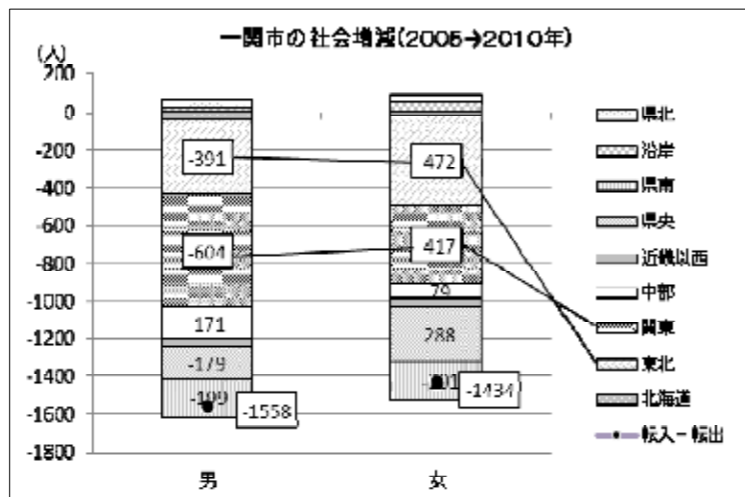
千厩地区まちづくり協議会報

第21号
平成30年 10月25日 発行
事務局 千厩市民センター内
電話番号 TEL 52-2309

人口減少問題を考える②

千厩地区の人口減少を考える上で、「地元就職」の件数は考慮しなければなりません。人口減少の大きな要因は「自然現象」であることは、先月号でも述べましたが、「若者の地域外流出」もまた、影響の大きい要因と言えます。

県のデータによると、一関市において平成17年～22年の間では、関東への転出数は「男604人」、「女417人」、東北内への転出は「男391人」、「女472人」となっており、年平均 約200人 が転出していることとなります。



「県内市町村における人口の動向について（H26.7）」
(岩手県HPより抜粋)

また、転出数のうち {「**18歳～24歳**」の年代に社会減少のピークがある} (p5.「県内人口の動向について」) ことも指摘されています。

岩手県 若者の特徴 (就職について)

- ・就職の際には 賃金 より 働きやすさ
- ・賃金等にこだわらな 県外 へ行く
- ・高校生は 教職員の勧め が影響大
- ・都会から戻るにも 職種・賃金 が不安

岩手県の若年者雇用動向調査 (H29.6)
pp3-5、一集計結果要約より



県の統計によると、高校生の就職では、賃金 より 働きやすさ を求める傾向が強く、3年以内の離職率は 約40% となっています。その理由として、仕事上のストレス (約40%)、職場での人間関係が良かった (約30%) があげられています。

高校生から一気に社会人となることは、非常に大きなストレスであり、その準備段階としての インターンシップ や アルバイト などの経験不足もひとつの離職要因と言えるでしょう。

地域に残る「若者」が、「千厩で暮らして良かった」と思えるような、または「案外千厩は良いところじゃないか」と都会から戻ってきた若者が言えるような「地域づくり」も必要と思われます。

住みよいまち名取と介護予防

千厩地区まちづくり協議会は「介護予防と地域づくり」をテーマとした研修を、10月4日、実施しました。

当日は、33人の参加があり、宮城県名取市等を視察しました。名取市では地域住民が集会場等を利用し「サロン」等の運営を積極的に行い、「なとりん体操」というご当地体操の普及活動を行うなど、幅広い活動が見て取れました。

参加者からは「他市の取り組みを聞くと、一関市との違いに気がつく」、「介護予防について考えなければ」との声があがっていました。



名取市で視察研修をした参加者の皆さん

なお、名取市は「住みよさランキング」全国3位で、転入者が多く人口が増えているまちです。こういったことが移住希望者への魅力となっているのか、一考の価値はありそうです。

千厩市民センターのホームページができました

当協議会が管理する千厩市民センターのホームページができました。今までは来館やお電話でしかできなかった施設の利用申請もパソコンがあれば入力申請が可能になります。

また、当協議会のイベント情報や広報物もインターネットを介してご自宅で、あるいは携帯、スマホでご覧いただけます。

ホームページの内容について、お問い合わせやご意見等ありましたら、千厩地区まちづくり協議会までご連絡ください。



ホームページ リンク



千厩川側道除草整備 11月17日(土) 8:30 ~2時間程度

地元の川縁をウォーキングで使えるように、区間 白山橋 (郵便局付近) ~ 久伝橋 (養老の滝付近)
草刈り、ゴミ拾いで一汗かこう
※ 詳しくは 11月10日 の回覧物をご覧ください

千厩地区まちづくり協議会 人事報告

9月30日付け 退職 主査兼事務局員「岩淵里恵子」
10月1日付け 採用 期限付臨時職員「佐藤ゆかり」